

テーマ	部会でのご意見	対応の方向
地域・経済を支える 都市構造	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・経済それぞれをつなぐ都市構造の在り方を示す必要がある（田村委員） ● 経済を発展させるまちづくりと環境負荷を低減するまちづくりを共存させることは、難しいが重要な観点。（志済委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2節の、概ね20年先を見据えた「都市づくりの目標」で、地域の観点から「安全・安心な都市づくり」や、経済の観点から「魅力と活力ある都市づくり」、環境の観点から「エネルギー効率の高い低炭素型の都市づくり」の3つを設定し、これを実現するための都市空間創造戦略を第3節で設定。
第7章の図面や記載 内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 第7章は、様々な事柄を盛り込んで対外的に示していく章である（小林部会長） ● 第7章が空間に戦略を落として将来像を示す重要なパート（志済委員） ● 第7章では都市構造の図面が重要であり、一枚の図面で多くの情報を伝える工夫が必要（田村委員） ● 各部門別計画の内容を超えた書き込みが必要（田村委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各重点戦略の取り組みを展開する場や機能など、地域・経済・環境の視点を重視した都市空間のあり方を示す。 ● 図面の表現については、今後の検討課題として、精査を進める。 ● 記載内容の検討に当たっては、各局との連携しながら進める。
コンパクトシティに ついて	<ul style="list-style-type: none"> ● コンパクトな市街地形成と都市の縮退はイコールではない。数十万人規模の都市と200万人規模の札幌ではその考え方も異なる。札幌にふさわしいコンパクトシティの考え方が必要（小林部会長） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 札幌の充実した公共交通網を軸とした「集約型都市構造」を目指すべき都市構造として設定し、環境負荷の少ない都市構造を目指す。一方で、良好な郊外住宅地の環境の維持もあわせて図ることで、札幌らしいライフスタイルの確立を目指す。
都市基盤の維持保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 膨大なインフラなどの改修時期がやってくる。持続可能な都市としていくためには、これらへの対応を考える必要がある（志済委員） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3節に都市マネジメントの考え方を記載していく。